

「命の授業」教材

「命の授業」の教材(一覧)

- 1 幼～小2年(道徳・生活科等)【どうぶつのいのちとところ】
- 2 幼～小2年(道徳・生活科等)【わたしたちとどうぶつとのかわり】
- 3 小1～4年(生活・道徳・総合等)【犬のたんじょうと子そだてふんとう記】
- 4 小1～4年(道徳・総合等)【おばあちゃんとネコ】
- 5 小1～4年(道徳・総合等)【わたしをすてないで】
- 6 小3～6年(道徳・総合等)【さいごの時まで】
- 7 小3～6年(道徳・総合等)【犬をかうってすてきですか】
- 8 小5～中3年・成人(道徳・総合等)【ある犬のおはなし】
- 9 小5～中3年・成人(道徳・総合等)【日本初のセラピードッグ犬】
- 10 小5～中3年・成人(道徳・総合等)【ネコのトムとボク】
- 11 中1～中3年・成人(道徳・総合等)【みいちゃんの命】

※ 授業の際、「犬との交流」や「犬・人の心拍数計測」等も可能

(○道徳→「特別の教科 道徳」、○総合→「総合的な学習の時間」)

《教材のねらい・概要》

命の授業(幼稚園～小2年:生活科or道徳など)

【どうぶつのいのちとところ】

①動物と犬のぬいぐるみとの違いは何か?

- 犬とのふれあい
- 人や犬の心音測定体験

②この絵を見て気付くことは何か?

- 犬(一人ぼっち、暗い場所、餌も水もない、汚れている、寂しそう、等々)
- 家族(皆で話して、お菓子、明るい、清潔、楽しそう、犬を無視、等々)

③動物となかよくするには、どんなおやくそくを?

※ 動物の5つの自由の観点等を参考に、犬の立場で、犬の心を考えることが出来る(生理面、健康管理面、環境面、社会面、行動面 等々)。



命の授業(幼～小2年:生活科or道徳など)

【私たちとどうぶつとのかわり】

①動物が生きてる証拠

- 犬とのふれあい ○人や犬の心音測定体験

②動物との関わりや役立ち

- ペット(たのしい) ○家畜動物(衣食→健康)
- 野生動物(美しい自然)

③動物のために、私たちができること

- ペット(お世話・責任) ○家畜(感謝、大切に)
- 野生動物(山や海にゴミを捨てない)



命の授業(小1～4年:生活科or道徳など)

【犬のたんじょうと子そだて(2ヶ月間)ふんとう記】

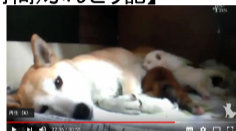
○出産と子育ての大変さ

- ・出産時の大変さ
(複数頭の出産、へその緒、胎盤、羊膜の処理 等々)

- ・子育ての大変さと赤ちゃん犬の育ち
(3時間に1度の授乳、便の世話、遊びとしつけ 等々)

○学習のねらい

犬の命への考え方を、〈命を育むことの大変さ〉〈母犬の愛情の深さ〉〈赤ちゃん犬の育ち〉等に注目してとらえ、生きることの素晴らしさを知るとともに、命の大切さに気付くことができる。



命の授業(小1～4年:道徳など)

【おばあちゃんとネコ】

○ネコ嫌いの祖母がネコとの出会いで、

- 心身の健康を取り戻すお話
- ・孫娘がネコを飼うようになった。
- ・はじめはネコをいやがっていたが、ひたすらじゃれてなつくので、だんだん好きになる。
- ・大発見と言っても、ネコの良さを家族に何度も語る。
- ・声は大きくなり、心は明るくなり、心身ともに快復する。

○学習のねらい

おばあちゃんが元気になった訳を、〈ネコの態度〉〈祖母の態度〉〈関係の変化〉等に注目してとらえ、動物の役割や命の大切さに気づくことができる。



命の授業(小1～4年:道徳など)

【わたしをすてないで】

○山に捨てられ、命を失う子ネコのお話。

- ・ある日、大好きな主人に、山の中にすてられた子ネコ。
- ・いつか迎えに来ると信じて、その場で待ち続ける。
- ・何日待っても来ないので、見つけてもらいやすいように道路の真ん中で待つようにした。
- ・大きなトラックにひかれて死んでしまう。
- ・子ネコは、祈り続ける。



○学習のねらい

子ネコの祈りの内容を、
〈猫の生活〉〈飼い主の生活〉〈人と猫との関係〉〈地域と猫との関係〉等に
着目して想像し、命の大切さに気づくことができる。

命の授業(小3～6年:道徳など)

【さいごの時まで】

○出会いから最後まで愛されたことを犬の立場から綴ったお話

- ・出会ったやさしいお母さん
- ・いつの間にか年を追い越した僕(犬)
- ・歩けなくなったら犬の車椅子
- ・最後まで声をかけられ、愛を感じながらの死。



○学習のねらい

終生飼育の意味を、〈責任と覚悟〉〈思いやりと愛情〉〈環境づくり〉
〈犬とのつながり〉等に注目することから捉え、深い愛が育む命の尊さに
気づくとともに、生命を大切にすることができる。

命の授業(小3～6年:道徳など)

【犬をかうってすてきですか？】

○犬を飼いたいと、強い気持ちでいざ飼い始めたものの、思ったほど名犬に育たず、手は掛かる。だが、そこで得られる愛の話。

- ・数ある名犬のお話はあるけれど…。
- ・いざ飼うと、賢くない、しつけは大変、期待外れ。
- ・でもね、純粋でまっすぐな貴方への「愛」が得られる。



○学習のねらい

犬を飼う意義を、〈飼う前のイメージ〉〈飼って実際起きる問題〉〈責任と覚悟〉等に注目して捉え、深い愛が得られる喜びや命の尊さに気づくとともに、生命を大切にすることができる。

命の授業(小5～中3年・成人:道徳など)

【ある犬のおはなし】

○保健所で殺処分された犬の立場から綴ったお話。

- ・僕(犬)は赤ちゃんの時、主人にであった。よく遊んでくれる大好きな主人。でも、いつからか見放されがちになる。
- ・ある日、知らないところに連れて行かれ、リードを渡される。
- ・ここで、僕(犬)はどう過ごすのか？涙を誘うお話。



○学習のねらい

犬の殺処分の減少方途を、〈飼育人の自覚と責任〉〈不可時の対処法〉〈国や県の取組〉〈法律の整備〉等に注目することから捉え、犬猫等の命の大切さに気づくとともに、生命を尊重することができる。

命の授業(小5～中3年・成人:道徳など)

【日本初のセラピードッグ犬】

○捨てられた犬、拾ってセラピー犬に育てた飼い主。たくさんの奇跡を起こしたお話

- ・虐待を受け捨てられた犬
- ・愛情を持って育てると素晴らしい能力発揮
- ・涙ぐましい困難を乗り越え介助犬へ成長
- ・多くの奇跡を起こし、多くの患者から感謝され、銅像に。



○学習のねらい

セラピー犬チロリが多くの奇跡を起こした訳を、〈犬の能力〉〈飼い主の愛情〉〈少女の行為〉〈犬と人との繋がり〉等に注目することから捉え、動物との共生の大切さや生命を尊重する意味に気づくことができる。

命の授業(小5～中3年・成人:道徳など)

【ネコのトムとボク】

○虐待されていたトム(ネコ)を助け、最後まで飼いつけたボクのお話。

- ・友人が自分にケガをさせたネコを、水の入ったポリバケツにネコを投げ込んだ。
- ・弱々しい子ネコは今にも死にそう。
- ・友人が「ネコを爆竹の筒に」と言った瞬間、ボクは切れて、友人に暴力を振るった。そしてネコを助けた。以降、10数年、そのねこ「トム」を最後まで飼った。この行為をどう評価するか？



○学習のねらい

ネコの命の救った行為の在り方を、〈ネコの命〉〈虐待と暴力〉
〈人とネコとのつながり〉等に注目することから捉え、生命を尊重する大切さに気づくことができる。

命の授業(中1～中3年・成人:道徳など)

【みいちゃんの命】

○瀕死の猫を助けたものの、その病状から、安楽死

の選択を求められ、悩み苦しむ女子中学生の話。

- ・炎天下のアスファルト上で倒れていた子ネコ。
- ・ひどい脱水症状で脳を冒され、命が助かっても障害が残る。
- ・苦しそうなネコに、獣医師から安楽死の選択を持ちかけられる。
- ・この猫にとってどちらを選ぶべきか、悩む主人公。



○学習のねらい

子猫の命への対し方を、〈生命力〉〈苦しみの重さ〉〈命の有限性〉〈家庭の事情〉等に注目することから捉え、命の尊厳に気づくことができる。